

電柱の老朽化の状況等について

2025年10月 1 日

- 画像MMS、レーザMMSを用いた面的な設備点検を実施し、電柱のひびやたわみなど、点検項目に基づいた設備健全性を確認



①車載レーザ・カメラによる設備データ収集

画像MMS（高精細画像）



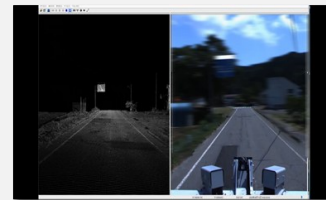
画像イメージ



レーザMMS（3D点群データ）



点群イメージ

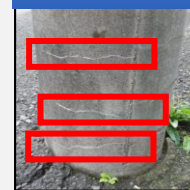


MMS（モバイル・マッピング・システム）：車両に各種の計測器を搭載し、移動しながら画像・点群データを取得する

②取得データを診断（AI活用）

電柱等のひび、錆びを画像で診断（画像MMS）

電柱のひび

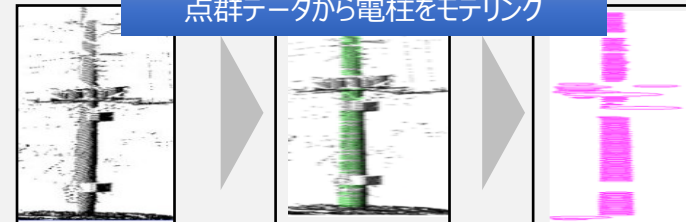


金物の錆び



点群をモデリング化・電柱のたわみを診断（レーザMMS）

点群データから電柱をモデリング



※レーザMMSは西日本は未導入

- ・ 設備点検結果から不良度合いを判定し、一定の基準を満たした電柱を更改
- ・ 不良度合いに基づく更改のため、面的更改ではなく、更改電柱は点在（劣化設備への経営資源の効果的投入）

①更改対象となる不良度合い(例)

<コンクリート柱>

- ・ 屈曲しているもの
- ・ 電柱本体に一定以上のヒビ幅が発生し、かつ、ケーブル・支持体により不平衡な状態となっているもの。



<鋼管柱>

- ・ 電柱本体に腐食による穴あき、または一定以上の減肉がみられるもの



②更改電柱の場所（2024年度）



凡例

: 更改電柱

: 既設NTT電柱

面ではなく、点在

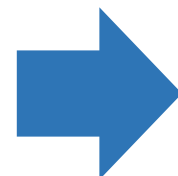


- 通信ネットワークの耐災害性強化に向けて、中継網等の重要回線や災害により複数回被災しているエリアについて、優先的に単独地中化を実施。

【直近の単独地中化の実施状況】

実施都道府県	実施場所
岩手	本寺エリア付近
山形	天魄山エリア、朝日エリア付近
千葉	富浦エリア、平久里エリア、松戸エリア付近
岐阜	白川エリア、馬瀬エリア、美濃坂下、岐阜川辺、根尾エリア付近
京都	鞍馬エリア付近
和歌山	串本エリア付近
福岡	高木エリア付近
大分	鯛生エリア、津江エリア付近
熊本	東陽エリア、一の宮、日奈久エリア付近
鹿児島	喜界島エリア付近
沖縄	伊江島エリア付近

項目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
路線数	2路線	5路線	5路線	4路線	4路線	20路線
整備距離 (着工ベース)	6.1km	4.9km	7.8km	7.5km	2.5km	28.8km
整備距離 (完成ベース)	6.1km	4.9km	7.8km	7.5km	施工中	26.3km

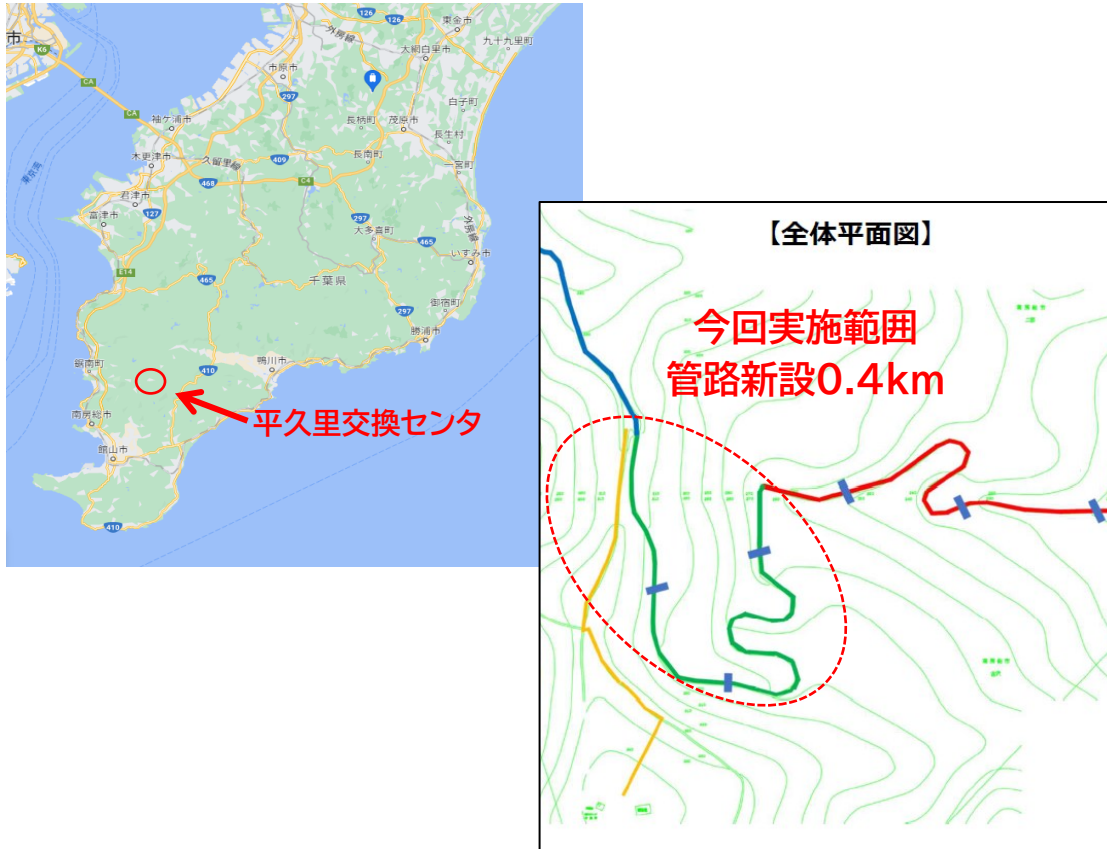


対災害性強化の観点から地中化が必要なルートについて、毎年の予算状況に応じて単独地中化を実施。

2025.02.25_無電柱化推進のあり方検討委員会 総務省資料より抜粋

- 2019年の台風で被災した本ルートについて、山間部により復旧に時間を要したため、今後同様の被災を想定して、単独地中化に着手(2024年度2工区)
※東京電力との共同施工。

<単独地中化着手箇所>



<山間部での架空設備設置状況>



2025.02.25_無電柱化推進のあり方検討委員会 総務省資料より抜粋

- 台風災害等により通信サービスへの影響が繰り返し発生したため、2024年度より単独地中化に着手。
(フェリーで駆け付けをしているため、復旧に時間がかかるエリア)

<単独地中化着手箇所>



<架空から地下への検討状況>

